

ワタミ 生物多様性方針

2025年4月1日

ワタミ株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO

渡邊美樹

ワタミは食品関連企業として、自然の恵みを頂いて事業活動を行っています。
事業活動を通して、生物多様性の恵みを大切に、それを脅かす環境負荷を低減し、さらにネイチャーポジティブへの貢献に努めることで、自然共生社会の実現を目指します。



1 生物多様性の恵みを持続可能にする活動を推進します。

- 有機農業で作物や乳製品などの畜産品を生産し、土壌や地下水・河川の汚染を防止することにより生物多様性保全に努めます。
- 国内外における原料は、サプライチェーンを通して生物多様性に配慮した農林畜水産物の調達に努めます。

2 生物多様性を脅かす環境汚染の低減活動を推進します。

- 店舗や工場から排出する食品廃棄物を抑制するとともに、食品廃棄物を資源として循環させ再び農畜産物を生産する食品リサイクルループを推進し、生物多様性の恵みを大切にします。
- 店舗や工場からの排水による環境負荷の低減に努めます。
- 再生可能エネルギーを使用することにより、気候変動防止に努めます。
- プラスチック容器包装を削減し、さらにリサイクル(回収)することにより、海洋プラスチック汚染と気候変動防止に努めます。

3 未来の子ども達のためにネイチャーポジティブを目指します。

- 基本的に農薬や化学肥料を使わない有機農地・牧場の管理面積を増やすことにより、生態系の保全に努めます。
- 協定を締結して地域の森林再生の活動を行い、森の生物多様性を豊かにし、ネイチャーポジティブに貢献するとともに、森林のCO₂吸収能力を高め、気候変動防止に努めます。
- 海域における生物多様性に配慮した水産資源を活用し、さらに藻場の回復に努め、ブルーカーボンの創出を支援します。

4 自然共生社会をつくるための教育活動を推進します。

- 美しい地球を美しいままに子ども達へ残すため、次世代に向けた環境教育を実施します。
- 従業員や地域社会・お客様と共に生物多様性保全の理解を深め、ネイチャーポジティブを目指した活動を実施します。

ワタミはこれらの活動を通し、生物多様性保全を目的とした30by30アライアンスの加盟企業として自然共生サイトへの認定取得をすすめ、自然共生社会の実現を目指します。

ありがとうを、あつめる。

 WATAMI